

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日中交流センター事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 高校生等招へい事業

### 2. 催し等事業費

- (1) ネットワーク整備事業（催し・主催）
- (2) 交流拠点設置運営事業（催し・主催）
- (3) 交流拠点設置運営事業（催し・助成）

### 3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 28,395,732 円

	事業名	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい(第二期生)	2007.09.04 ~ 2008.07.26	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第二期生は計37名を招へい。
2	コミュニティサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本と中国の市民間の交流が続くよう、交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心コミュニティ・サイト」を運営。

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 高校生等招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 50,021,879 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい (第二期生)	37	2007.09.04 ~ 2008.07.26	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本の人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第二期生は計37名を招へい。
2	中国高校生長期招へい (第三期生)	26	2008.09.02 ~ 2009.07.25	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本の人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより”人”と”人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第三期生は計26名を招へい。
3	長期 (第一期生フォローアップ)	37	2007.07.28 ~ 2009.03.31	長期招へい事業で招へいした生徒が帰国した後、大学進学などのバックアップを含めたフォローを行う。また、連絡先を常に更新できるよう、つながりを持続する。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (催し・主催)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 890,879 円

	事業名	協力機関	期間	事業内容
1	高校生招へい事業フォローアップ	中国教育部	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2006年の高校生招へい事業開始以来、同事業で招へいした中国青少年との交流を継続し、関係をつなぐ目的で出張訪問及び面談、交流会等を実施する。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 交流拠点設置運営事業 (催し・主催)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 30,147,739 円

	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	南京	金陵図書館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国江蘇省南京市の金陵図書館内に設置。2008年12月に開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。
2	成都	広島・四川中日友好会館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2007年4月に、中国四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に共同設置型の「ふれあいの場」が開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。
3	長春	長春図書館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国吉林省長春市の長春図書館内に設置。2008年5月に開館。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを定期的に開催。

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (3) 交流拠点設置運営事業 (催し・助成)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 3,451,417 円

	都市	助成機関	期間	事業内容
1	延吉	延辺大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成20年度の助成型「ふれあいの場」として、中国吉林省延吉市にある延辺大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる。
2	南通	南通職業大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成20年度の助成型「ふれあいの場」として、中国江蘇省南通市にある南通職業大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる。

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 27,935,642 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心日中交流コミュニティ・サイト」 運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本と中国の市民間の交流が続くよう、交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心コミュニティ・サイト」を運営。このサイトでは、日本、中国に留学した高校生のブログや、多様なコンテンツによる日本文化紹介情報を発信。
2	ラジオ番組制作・放送事業	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、現代日本文化に関する情報が比較的少ない中国国内地域での放送を行った。平成20年度は、株式会社ナレッジ・アンド・メディアに業務委託を行ない、延べ25カ所の放送局で放送。